

令和2年度(2020年度)用

小学校生活科用

「あたらしい せいかつ」 年間指導計画作成資料 【2年(下巻)】

令和元年(2019年)7月19日版

※単元ごとの配当時数、主な学習活動、評価規準などは、今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

単元名	春だ 今日から 2年生			教科書のページ	p.1~8
配当時数	6時間	活動時期	4月	学習指導要領の内容	主たる内容:(3)(5)(9) 従たる内容:(1)(6)(8)

単元の目標		春の身近な自然の観察を通して、夏、秋、冬との違いを見付け、四季の変化や、春を迎えて生活の様子が変わったことに気付いたり、学校の周りをみんなで歩き、地域の安全を守っている人々や施設のことが分かったりするとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、地域への関心を高めようとするができるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	春の身近な自然の観察を通して、四季の変化や春に合わせて生活の様子が変わること気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	春の身近な自然の観察を通して、夏、秋、冬の様子と比べ、身近な自然の違いや特徴を見付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	春の身近な自然の観察を通して、春の自然や地域の安全を守っている人に親しみ、地域で安全に生活しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
校ていで 春を さがそう			
<ul style="list-style-type: none"> 諸感覚を使って、春の自然を観察し、夏、秋、冬の様子と比べ、校庭の自然の違いや特徴を見付け、四季の変化に気付き、春の自然のよさを感じて自分の生活を楽しくしようとするができるようにする。 <p>p.2~3</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> ①~②校庭などで、春の動植物を観察したり、春を感じられるものを探したりして、冬から春になって変わっていることを探す。 ③気付いたことや感じたことを記録カードにかいたり、友達と伝え合ったりして、四季の変化を共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> [思判表] 作品・発言・行動観察 [態度] 作品・発言・行動観察
春の まちを 歩こう			
<ul style="list-style-type: none"> 学校の周りをみんなで歩き、季節によって、自分たちの地域の生活の様子が変わること気付くとともに、安全への意識を高め、地域の安全を守っている人に親しんで地域で安全に生活しようとするができるようにする。 <p>p.4~5</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> ①みんなで学校の周りの地域を歩く計画を立てる。 ②学校の周りの地域に出かけ、安全な登下校の仕方を確認したり、地域の人々と関わったりする。 ③地域の絵地図を見ながら、自分の通学路や家の周りのことを友達と伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> [知技] 作品・発言・行動観察 [知技] 作品・発言・行動観察 [態度] 作品・発言・行動観察

単元名	ぐんぐん そだて わたしの 野さい			教科書の ページ	p.9～22
配当時数	10 時間	活動時期	4～5 月	学習指導要 領の内容	主たる内容:(7) 従たる内容:(8)(9)

単元の目標		植物を継続的に栽培する活動を通して、これまでの経験を基に予測しながら、それらの変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、植物が生命を持っていることや成長していることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、生き物に親しみをもち、大切にしようとするができるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	植物を継続的に栽培する活動を通して、植物が生命を持っていることや成長していることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	植物を継続的に栽培する活動を通して、植物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。
	主体的に学習に 取り組む態度	植物を継続的に栽培する活動を通して、生き物に親しみをもち、大切にしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
野さいを そだてよう			
<ul style="list-style-type: none"> 植物を育てることに関心をもち、これまでの経験や自分の思いや願いを基に、自分で育てる植物を決め、適切に苗を植えたり、たねをまいたりすることができるようにする。 <p>p.10～11</p>	2	<ul style="list-style-type: none"> ①春から栽培するのに適している植物についてみんなで話し合ったり、育て方を調べたりなどして、自分で栽培する植物を決める。 ②自分が育てる植物の苗を植えたり、たねをまいたりして、気付いたことを記録カードにかく。 	[思判表] 作品・発言・行動観察
野さいの せわを しよう			
<ul style="list-style-type: none"> 1年生での経験から予測して植物の世話の仕方を決め、植物の状態を観察して植物が生命をもち成長していることに気づき、友達や周囲の人と関わりながら、植物を育てようとするができるようにする。 <p>p.12～13</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> ①植物の様子について話し合い、今はどんな世話が必要かを話し合う。 常時活動 休み時間などを使って、水やりや草取り、施肥など、継続的に世話をしたり、記録したりする。 ②～③必要に応じて支柱を立てる、脇芽を摘むなどの世話をし、その都度記録カードなどにまとめる。 	[知技] 作品・発言・行動観察 [知技] 作品・発言・行動観察 [思判表] 作品・発言・行動観察
野さいの ようすを つたえ合おう			
<ul style="list-style-type: none"> 植物の成長の様子、世話の仕方などを紹介し合う中で、友達の育てている植物と、自分の育てている植物の世話の仕方に関連付けて予測し、世話の仕方を決めるとともに、いろいろな植物に、同じような特徴や性質、変化があることに気付くことができるようにす 	2	<ul style="list-style-type: none"> ①～②途中経過報告会を開き、自分の育てている植物の成長の様子や世話の仕方を話し合う。 常時活動 友達の世話の仕方の中から自分の植物に使えるものを選び、実行する。 	[知技] 作品・発言・行動観察 [思判表] 作品・発言・行動観察

る。 p.14~15			
野菜を しゅうかくしよう			
<ul style="list-style-type: none"> 植物の状態を観察して収穫したり、今までの活動をまとめたりして、植物の成長は、自分の世話と関わっていることに気づき、植物の栽培を楽しみ、生き物を大切にすることができるようにする。 <p>p.18~19</p>	3	<p>常時活動 休み時間などを使って、植物の状態を観察し、熟した植物を収穫する。</p> <p>① 収穫して気付いたことを記録カードにかき、友達と伝えあう。</p> <p>家庭 収穫した植物を、それぞれの家庭で報告したり、一緒に食べたりする。</p> <p>②~③ これまでにかいた記録カードを振り返りながら、これまでの栽培のことをまとめ、友達と発表しあう。</p>	<p>[知技] 作品・発言・行動観察</p> <p>[態度] 作品・発言・行動観察</p>
サツマイモを しゅうかくしよう			
<ul style="list-style-type: none"> みんなで育てたサツマイモの収穫を喜ぶとともに、これまでの経験や自分の思いや願いを基に、サツマイモの利用方法を決め、植物を栽培することのよさを実感し、植物を栽培しようとするができるようにする。 <p>p.68~69</p>	外	<ul style="list-style-type: none"> サツマイモを収穫する。 サツマイモのつるなどを利用してできる遊びを考え、みんなで楽しく遊ぶ。 収穫したサツマイモの世話を振り返り、作品にまとめる。 	<p>[思判表] 作品・発言・行動観察</p> <p>[態度] 作品・発言・行動観察</p>

単元名	どきどき わくわく まちたんけん			教科書の ページ	p.23～32
配当時間	10 時間	活動時期	5～6 月	学習指導要 領の内容	主たる内容:(3) 従たる内容:(8)

単元の目標		地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、地域の場所と自分の関わりを考え、地域にはさまざまな場所がありさまざまな人がいることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、地域の人々と適切に接したり、安全に気を付けて生活したりしようとするができるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、自分の身近な地域には、さまざまな場所があり、さまざまな人がいることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、身近な地域の場所と自分との関わりについて考えている。
	主体的に学習に 取り組む態度	地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、地域の人々と適切に接したり、安全に気を付けて生活したりしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
まちの ことを 話そう			
・自分のお気に入りの場所や興味のある場所、知っている場所、不思議に思っている場所などを紹介し合い、身近な地域の人や場所と関わろうとすることができるようにする。 p.24～25	1	①自分の生活している身近な地域の中で、自分がお気に入りの場所や興味のある場所、不思議に思っている場所などを話し合う。	[態度]作品・発言・行動観察
たんけんの 計画を 立てよう			
・友達と探検に行きたい場所を話し合い、計画を立てたり、見直したりしながら、地域の人や場所と関わろうとすることができるようにする。 p.26～27	3	①探検に行きたい場所を話し合い、グループに分かれる。 ②グループごとに、探検する順番や通る道、役割、持ち物、探検のルールやマナーなど、探検の計画を話し合い、計画表にかく。 ③探検の計画と、探検のルールやマナーを確認し、探検に出かける準備をする。	[態度]作品・発言・行動観察
まちを たんけんしよう			
・グループごとに探検に出かけ、地域の人や場所と直接触れ合い、自分の生活との関わりを見付けることができるようにする。 p.28～29	3	①～③グループごとに、計画に沿って探検に行き、地域の場所やもの、人と関わる。	[知技]作品・発言・行動観察 [思判表]作品・発言・行動観察
見つけた ことを つたえ合おう			
・探検で見つけた場所やもの、関わった人のことを、絵地図に貼るなどして友達と伝え合い、地域には、自分たちの生活と関わっている場所がたくさんあることに気	3	①探検で見つけたことを、グループごとに振り返り、気付いたことを記録カードにかく。 ②見つけたことの中で、いちばん伝えたいことを付箋紙にかき、	[知技]作品・発言・行動観察

<p>付き，地域の人や場所に親しみを持ち，積極的に関わろうとすることができるようになる。</p> <p>p.30～31</p>		<p>絵地図に貼る。</p> <p>③絵地図を見ながら，自分たちが調べてきたことや，新しく見つけたことなどを発表する。</p>	
---	--	---	--

単元名	生きもの なかよし 大作せん			教科書のページ	p.33～46
配当時数	10 時間	活動時期	6～7 月	学習指導要領の内容	主たる内容:(5)(7) 従たる内容:(3)(8)

単元の目標		動物を探して捕まえたり，飼育したりする活動を通して，それらの育つ場所，変化や成長の様子に関心をもって働きかけ，それらが成長していることや，自分たちと同じように生命をもっていることなどに気付くとともに，生活上必要な習慣や技能を身に付け，動物への親しみをもって，生き物を大切にしようとするができるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	動物を探して捕まえたり，飼育したりする活動を通して，動物が成長していることや，自分たちと同じように生命をもっていることに気付くとともに，生活上必要な習慣や技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	動物を探して捕まえたり，飼育したりする活動を通して，動物の育つ場所，変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。
	主体的に学習に取り組む態度	動物を探して捕まえたり，飼育したりする活動を通して，動物への親しみをもって，生き物を大切にしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
生きもののことを話そう			
・身の回りで，生き物を見つけたことがある場所や，生き物がいそうな場所について話し合い，身近な動物と関わろうとすることができる。 <p style="text-align: right;">p.34～35</p>	1	①ふだんの生活の中で見つけた動物の種類や，それらの生息している場所について話し合う。	[態度]作品・発言・行動観察
生きものをさがそう			
・動物の育つ場所に関心をもち，動物を捕まえる計画を立て，安全に気を付けて，みんなで動物を探しに行ったり，捕まえた動物の世話の仕方を決めたりすることができるようにする <p style="text-align: right;">p.36～37</p>	3	①本で調べたり，詳しい人に聞いたり，自分たちが知っている方法を話し合ったりして，動物を採集しに行く計画を立てる。 ②計画した場所に出かけ，安全に気を付けながら，友達と協力して動物を捕まえる。 ③動物のために餌やすみかを整えてから，捕まえたときのことや，捕まえた場所のことを振り返り，気付いたことを記録カードにかく。	[思判表]作品・発言・行動観察
生きものをそだてよう			
・捕まえた動物を飼育し続けたいという思いをもち，動物の育つ場所，変化や成長の様子を予測して見通しを立て，動物の世話の仕方を決め，動物が生命をもっていることや成長していることに気付き，生き物を大切にすることができるようにする。 <p style="text-align: right;">p.38～39</p>	3	①飼い続けるために必要な餌やすみかについて話し合ったり，調べたりする。 ②～③動物を捕まえた場所のことを想起してすみかをつくるなど，動物に応じた世話をする。 常時活動 休み時間などを使って，世話をしたり，様子を観察したりしながら，継続的に飼育する。	[知技]作品・発言・行動観察 [思判表]作品・発言・行動観察

生きものの ことをつたえ合おう			
<p>・自分たちが飼育してきた動物のことを振り返り，作品にまとめる中で，動物のことを考えて継続的に世話をできるようになった自分自身に気付き，動物への親しみをもって生き物を大切にしようとするができるようにする。</p> <p style="text-align: right;">p.42</p>	3	<p>①～②これまでの飼育のことを振り返り，伝えたいことを，グループで話し合っ決めて，作品をつくる。</p> <p>③友達と，作品や実際に飼っている動物を用いて，見付けたことやこれまで世話をしてきたことを伝え合う。</p>	<p>[知技] 作品・発言・行動観察</p> <p>[知技] 作品・発言・行動観察</p> <p>[態度] 作品・発言・行動観察</p>

単元名	うごく うごく わたしの おもちゃ			教科書のページ	p.47～58
配当時間	12 時間	活動時期	9～10 月	学習指導要領の内容	主たる内容:(6) 従たる内容:(8)

単元の目標		身近にあるものを使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、よりよく動くように改良したり、もっと楽しくなるように遊び方やルールを変えたりなど工夫してつくることができ、遊びの面白さや不思議さに気付き、生活上必要な習慣や技能を身に付け、みんなで楽しみながら遊びを創り出そうとすることができるようにする。
単元の観点別評価規準	知識・技能	身近にあるものを使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、遊びやおもちゃをつくる面白さや、自然の不思議さに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	身近にあるものを使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、おもちゃがよりよく動くように改良したり、もっと楽しくなるように遊び方を変えたりなど、工夫しておもちゃや遊びをつくっている。
	主体的に学習に取り組む態度	身近にあるものを使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、みんなで楽しみながら遊びを創り出そうとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
つくりたい おもちゃを きめよう			
・動くおもちゃで遊ぶことやつくることに興味をもち、身近にある物を使っておもちゃをつくることのできるようにする。 p.48～49	1	①見本のおもちゃで遊び、つくるおもちゃを決める。	[態度]作品・発言・行動観察
うごく おもちゃをつくろう			
・動きを予想したり実際に試したりしながら材料を選び、おもちゃを工夫してつくり、遊びの面白さや自然の不思議さに気付くことのできるようにする。 p.50～51	3	①～③見本のおもちゃや教科書、図鑑などを参考にして、おもちゃに必要な材料や道具を考えて用意し、試行錯誤しながら、自分のおもちゃをつくり、動かして遊ぶ。	[知技]作品・発言・行動観察 [思判表]作品・発言・行動観察
もっと よく うごく おもちゃに しよう			
・友達のおもちゃと比べたり、何度も試行錯誤したりしながら、おもちゃを改良し、自然の不思議さに気付き、みんなで楽しみながら遊びを創り出そうとすることができるようにする。 p.52～53	3	①自分がつくったおもちゃで遊んだり、友達と競争したりする。 ②～③友達と比べたり、工夫したところを教え合ったりして、試行錯誤しながら、さらに自分たちのおもちゃの機能が高まるように改良する。	[知技]作品・発言・行動観察 [思判表]作品・発言・行動観察
あそび方を くふうしよう			
・自分たちがつくったおもちゃを使って遊び、友達と相談しながらルールを変え、実際に試してみながら遊びを見直し、ルールや遊びを工夫して、友達と一緒に遊びを創り出す面白さに気付き、遊びを創り出そうとすることができるよ	5	①みんなで楽しく遊ぶためのルールや遊び方、準備することなどについて話し合う。 ②みんなで遊ぶために、おもちゃや会場の準備をしたり、遊び方の紹介パンフレットなどをつくったりする。	[知技]作品・発言・行動観察 [思判表]作品・発言・行動観察 [態度]作品・発言・行動観察

<p>うにする。</p> <p>p.54～55</p>	<p>③～④遊びながら、おもちゃを改良したり、さらに楽しくするためのルールを考えたりする。</p> <p>⑤みんなで遊んだり、友達に教えてもらったりしたことを振り返り、記録カードなどにかく。</p>	
-----------------------------	---	--

単元名	みんなで つかう まちの しせつ			教科書の ページ	p.59～70
配当時数	6 時間	活動時期	10 月	学習指導要 領の内容	主たる内容:(4) 従たる内容:(3)(8)

単元の目標		公共物や公共施設の利用を通して、それらのよさを感じたり働きを捉えたりすることができ、身の回りにはみんなで使うものがあることやそれらを支えている人々がいることなどが分かるとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、それらを大切にし、正しく完全に利用しようとすることができるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	公共物や公共施設の利用を通して、身の回りにはみんなで使うものがあることや、それらを支えている人々がいることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	公共物や公共施設の利用を通して、公共物や公共施設のよさを感じたり、働きを捉えたりしている。
	主体的に学習に 取り組む態度	公共物や公共施設の利用を通して、公共物や公共施設を大切にし、正しく、安全に利用しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
図書かんを つかおう			
<ul style="list-style-type: none"> 図書館を利用する中で、図書館のよさを感じ、図書館は自分たちだけでなく、さまざまな人が利用していることに気付き、それらを大切にし、正しく利用しようとするができるようにする。 <p>p.60～61</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> ①図書館などの公共施設を利用する際のルールやマナーについて確認し、出かけるための準備をする。 ②～③地域の図書館に出かけ、本を読んだり、借りたりするなどして、実際に図書館を利用する。学校に戻り、図書館を利用したことを振り返り、気付いたことを記録カードに表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> [知技] 作品・発言・行動観察 [知技] 作品・発言・行動観察
図書かんの ことを 聞いて みよう			
<ul style="list-style-type: none"> 図書館司書の人やボランティアの人と関わる中で、図書館やそこで働く人のよさを捉えたり、働きを捉えたりして、図書館を支えている人があることや、図書館には、みんなが気持ちよく利用するためのさまざまな工夫があることに気付き、図書館を大切に扱い、利用しようとするができるようにする。 <p>p.62～63</p>	2	<ul style="list-style-type: none"> ①図書館に行き、図書館のことを調べたり、図書館司書の人やボランティアの人、利用者などにインタビューしたりする。 ②学校に戻って、活動を振り返って話し合い、気付いたことを記録カードに表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> [思判表] 作品・発言・行動観察 [態度] 作品・発言・行動観察
みんなで つかう しせつの ことを 話し合おう			
<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの公共施設を利用した経験について共有する中で、地域の公共施設のよさを感じたり働きを捉えたりして、自分たちの暮らす地域にはみんなで使うものが多様に存在していることに気付 	1	<ul style="list-style-type: none"> ①児童館や科学館など、身の回りの公共施設の利用経験を思い出し、話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> [知技] 作品・発言・行動観察

くことができるようにする。 p.64~65			
--------------------------	--	--	--

単元名	もつと なかよし まちたんけん			教科書の ページ	p.71～80
配当時数	12 時間	活動時期	10～11 月	学習指導要 領の内容	主たる内容:(3) 従たる内容:(5)(8)

単元の目標		地域の人々と関わる活動を通して、地域で生活したり、働いたりしている人と自分たちの生活との関わりを考え、自分たちの生活はさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、地域の人々に親しみや愛着をもち、人々と適切に接したり、安全に生活したりしようとするができるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	地域の人々と関わる活動を通して、自分たちの生活は、地域のさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	地域の人々と関わる活動を通して、地域で生活したり、働いたりしている人と自分たちの生活との関わりを考えている。
	主体的に学習に 取り組む態度	地域の人々と関わる活動を通して、地域の人々に親しみや愛着をもち、人々と適切に接したり、安全に生活したりしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
たんけんの 計画を立てよう			
<ul style="list-style-type: none"> 春のまち探検や夏休みに、人や場所と関わった経験を基に、もう一度行ってみたい場所や知りたいことを話し合い、行く場所を決めて、探検の準備をし、地域の人や場所と関わろうとすることができるようにする。 <p>p.72～73</p>	2	<ul style="list-style-type: none"> ①絵地図を見ながら、春のまち探検や夏休みに行った場所のことを振り返りながら、探検に行きたい場所や話したい人、聞きたいことなどを話し合い、まち探検のグループを決める。 ②グループごとに、探検する場所や聞きたいことを確認し、順番や通る道、役割、持ち物、探検のルールやマナーなど、探検の計画を話し合い、計画表にかく。 	[態度]作品・発言・行動観察
もう いちど たんけんに行こう			
<ul style="list-style-type: none"> 探検の計画に沿って、グループで地域に出かけ、自分の知っているほかの場所と比べながら、地域の人や場所の特徴や役割を見付け、地域のさまざまな場所には、生活したり働いたりしている人がいることに気付くことができるようにする。 <p>p.74～75</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> ①～②グループごとに、計画に沿って探検に行き、地域の人と関わったり、インタビューしたりする。 ③活動を振り返り、まち探検で聞いてきたことや気付いたことを、友達や教師に話し、記録カードにかく。 	[知技]作品・発言・行動観察 [思判表]作品・発言・行動観察
見つけた ことを しょうかいしよう			
<ul style="list-style-type: none"> まち探検で関わった人や場所と、友達に関わった人や場所を比べて共通点や相違点を見付け、まち探検で分からなかったことやもっと知りたいことを調べようと、もう一度探検に行こうとする 	2	<ul style="list-style-type: none"> ①グループごとに見つけたことを整理して発表し合い、次の探検への見通しをもつ。 ②グループごとに次にしたいことを相談し、もっと詳しく調べたいことについて話し合い、もう 	[思判表]作品・発言・行動観察 [態度]作品・発言・行動観察

<p>ことができる</p> <p>p.76~77</p>		<p>一度探検に行く場所を決める。</p>	
<p>まちの人に 聞きに 行こう</p>			
<p>・地域の人に質問して、地域のことを調べ、地域の人々が自分たちの生活と関わっていることや、地域の人々が自分たちの地域に寄せる思いに気づき、親しみや愛着をもつことができるようにする。</p> <p>p.78~79</p>	<p>3</p>	<p>①前の探検で関わった人に、もっと詳しくインタビューする計画を立て、探検の準備をする。</p> <p>②～③グループごとに、計画に沿って探検に行き、地域の人にインタビューする。</p>	<p>[知技] 作品・発言・行動観察</p> <p>[知技] 作品・発言・行動観察</p>
<p>分かった ことを 話し合おう</p>			
<p>・地域で見つけたことを振り返って友達と伝え合い、自分たちの地域には、すてきな人や場所がたくさんあることなど、地域のよさに気づき、地域への親しみや愛着をもつことができるようにする。</p> <p>p.80</p>	<p>2</p>	<p>①探検で分かったことをグループで話し合い、ほかのグループの友達に伝える準備をする。</p> <p>②デジタルカメラで撮ってきた写真を見せ合ったり、絵地図を見ながら口頭で話したりして、地域で分かったことを、友達と発表し合う。</p>	<p>[知技] 作品・発言・行動観察</p>

単元名	つながる 広がる わたしの 生活			教科書の ページ	p.81～94
配当時間	12 時間	活動時期	11～12 月	学習指導要 領の内容	主たる内容:(3)(8) 従たる内容:(4)

単元の目標		自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりすることができ、身近な人々と関わることのよさや楽しさが分かるとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、進んで触れ合い交流しようとすることができるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、身近な人々と関わることのよさや楽しさに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり、伝えたいことや伝え方を選んだりしている。
	主体的に学習に 取り組む態度	自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、地域の人々に親しみをもち、進んで触れ合い、交流しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
つたえたいな まちの すてき			
<ul style="list-style-type: none"> これまでの活動における地域の人々との関わりについて友達と交流し、伝える相手のことを想像しながら、伝える相手と伝えることを選び、地域で関わった人のことを、身近な人々に伝えようとするようにする。 <p>p.82～83</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> ①秋の探検で出会った人や、見付けたことを個々に振り返り、自分が伝えたいことを記録カードに書く。 ②「まちのすてき」を友達と伝え合う。 ③出会った人や見付けたことについて、もっと多くの人に伝えたいと思うことを話し合う。 	[思判表] 作品・発言・行動観察
もっと くわしく しらべよう			
<ul style="list-style-type: none"> 伝える相手のことを想像して、さらに調べたいことを決め、インタビュー、手紙や電話などの多様な手段を適切に使って詳しく調べ、地域には自分たちの生活を支えている人々がいることに気付くことができるようにする。 <p>p.84～85</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> ①伝えたいことについて考え、もっと詳しく知りたいことをどのように調べればよいか話し合う。 ②～③多様な手段を活用し、さらに詳しく調べる。 	[知技] 作品・発言・行動観察 [知技] 作品・発言・行動観察
つたえたい ことを まとめよう			
<ul style="list-style-type: none"> 地域の人に伝えるための作品をつくり、伝える相手のことを想像しながら伝え方を選び、地域の人々と交流しようとするようにする。 <p>p.86～87</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> ①相手意識や目的意識をもち、何を誰にどのように伝えるのかを考える。 ②～③ポスターやパンフレットをつくったり、劇の練習をしたりして、伝える準備をする。 	[思判表] 作品・発言・行動観察 [態度] 作品・発言・行動観察
まちの すてきを とどけよう			
<ul style="list-style-type: none"> 分かったことを地域の人に伝え、伝えたいことが相手に伝わることのよさや楽しさが分かり、地域 	3	<ul style="list-style-type: none"> ①～②集めた情報を、地域の人に伝えたり、発信したりする。 ③地域に伝えたことや発信したこ 	[知技] 作品・発言・行動観察

<p>の人や場所に、親しみや愛着をもち、憧れをもって関わろうとすることができるようになる。</p> <p style="text-align: right;">p.88</p>		<p>とに対しての、地域の人々の反応を共有し、活動を振り返る。</p>	
<p>まちの人をしょうたいしよう</p>			
<p>・自分の作品を使って、分かったことを身近な人々に伝えたり、身近な人々から感想を聞いたりして、身近な人々と自分たちの暮らす地域のことを伝え合うことの楽しさが分かり、地域の人々に親しみを持ち、進んで交流することができるようにする。</p> <p style="text-align: right;">p.89</p>	<p>外</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校に招待するための手紙やポスターをつくり、身近な人々を招待する準備をしたり、発表会の練習をしたりする。 ・保護者や地域の人など、身近な人々を招待し、表現作品を使って、自分の心に残った地域の出来事を発表する。招待した人からの感想を聞くなどして、今までの活動を振り返る。 	<p>[態度] 作品・発言・行動観察</p>

単元名	あしたへ ジャンプ			教科書のページ	p.95～106
配当時間	27 時間	活動時期	1～3 月	学習指導要領の内容	主たる内容:(9) 従たる内容:(2)(3)(8)

単元の目標		自分の生活や成長を振り返る活動を通して、自分のことや支えてくれた人々について考え、自分でできるようになったことや、役割が増えたことなどに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの学習や生活への願いをもって意欲的に生活しようとすることができるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	自分の生活や成長を振り返る活動を通して、自分でできるようになったことや役割が増えたことに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	自分の生活や成長を振り返る活動を通して、自分のことや自分の成長を支えてくれた人々について考えている。
	主体的に学習に取り組む態度	自分の生活や成長を振り返る活動を通して、自分の成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの学習や生活への願いをもって意欲的に生活しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
大きくなった自分のことをふりかえろう			
<ul style="list-style-type: none"> これまでの表現作品などを手がかりにして、2年間の学習や生活を振り返り、自分のことについて考え、自分ができるようになったことなどに気付くことができるようにする。 <p>p.96～97</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> ①写真やビデオ、記録カード、作品などの手がかりを基に、入学してからの出来事について、みんなで話し合う。 ②自分のつくった表現作品などを見直して、自分ができるようになったことを見付ける。 ③自分たちができるようになったことなどを、友達と伝え合う。 	[知技]作品・発言・行動観察
大きくなった自分のことをしらべよう			
<ul style="list-style-type: none"> 友達や家の人などの身近な人々に、自分のことをインタビューして自分の成長についてさらに調べ、過去の自分と現在の自分を比べて自分の成長を見付け、自分や友達の優しい気持ちや内面的な成長に気付くことができるようにする。 <p>p.98～99</p>	6	<ul style="list-style-type: none"> ①～②友達との関わりを振り返り、互いのすてきなところを見付け、カードにかいて渡し合う。 ③～⑤お世話になった人や家の人などに、自分の成長についてインタビューする。 ⑥もらったカードやインタビューなどを手がかりにして、過去の自分と比較して、自分の成長について話し合う。 	[知技]作品・発言・行動観察 [思判表]作品・発言・行動観察 [態度]作品・発言・行動観察
自分のことをまとめよう			
<ul style="list-style-type: none"> 役割が増えたことや、できるようになったことと、自分が頑張ってきたことを関連付けて自分の成長を見付け、自分がさまざまなことに取り組みながら成長してきたことに気付くことができるようにする。 	9	<ul style="list-style-type: none"> ①調べたことの中から、どんな出来事をどんな方法でまとめるのかを決める。 ②～⑦資料や材料を集め、方法を工夫しながら、自分の成長をまとめる。 ⑧～⑨つくった作品を友達と見せ 	[知技]作品・発言・行動観察 [思判表]作品・発言・行動観察

p.100～101		合い，大きくなった自分たちのことや支えてくれた人のことについて話し合う。	
ありがとうの 気持ちを つたえよう			
<p>・これまでの自分の成長と，身近な人々の存在を関連付け，支えてくれた人々の存在を見付け，これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち，成長への願いをもって，3年生へ向かおうとすることができるようにする。</p> <p>p.102～103</p>	9	<p>①～②招待したい人を決め，発表することや方法を考えるなど，発表会の計画を立てる。</p> <p>③～⑤発表の方法を工夫し，準備や練習をしたり，招待状を出したりする。</p> <p>⑥～⑧感謝の気持ちを伝えるための発表会を開く。</p> <p>⑨発表会を振り返り，今後の学習や生活への意欲を話し合う。</p>	<p>[思判表]作品・発言・行動観察</p> <p>[態度]作品・発言・行動観察</p>